令和7年度

板橋区登録手話通訳者選考試験

二次試験　聞き取り表現問題

問題１　　「　年賀状減少の背景　」　　（１分３２秒）

若者の年賀状離れは年々続いています。年賀状の 2003 年の発行枚数は 44 億 5 千万枚でしたが、これをピークに減少し続け、2024 年は 10 億 7 千万枚の発行でした。

出さない理由として大きいのは、最近はスマホが普及し、SNS で気軽に連絡を取ることができるようになったためと考えられ、わざわざはがきを買って友人や知人に出す人は少なくなりました。

はがきは 1 枚 85 円ですが、携帯メールでは 1 通 10 円程度、 また LINE などでは無料ですから、はがきは無駄なお金がかかると思われる向きもあるのではないでしょうか。

また近年、個人情報の取扱いに関する意識が変わったこともあり、住所や電話番号を聞くのもためらい、年賀状を出さないことにもつながっていると考えられます。

問題２　　「　思い出の贈り物　」　　（１分４７秒）

30 年前、私が高校生の時、東北地方で新聞配達をしていました。配送業務だけでなく集金業務もありました。

あるお宅で「新聞代をお願いします」と言うとご主人が「ちょっとまってね。メガネをかけないと」と言い探し始めました。「あれ！？どこへやったかなぁ？確かここに置いたはずだけど……」というご主人の頭にメガネがあります。私が「頭に…」と言うと「えっ！」と頭を触り笑ったので、私もつられて笑ってしまいました。

数日後、その方から新聞店に私への手紙とプレゼントが届きました。手紙には「高校卒業まで新聞配達を頑張ると話していた高校生に、この目覚まし時計を渡してほしい」とありました。真心のこもった贈り物はとても嬉しかったです。すぐにお礼の手紙を送りました。

社会に出て辛いことがあるたびに、この思い出が私を励ましてくれます。